

## 令和2年10月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年10月分について、輸出は「プラスチック」などが増加したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが減少したことから、対前年同月比5.3%の減少となった。また、輸入は「石油製品」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同31.2%の減少となった。その結果、差引額は177億円（同66.1%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	668億円	▲5.3%	845億円	▲31.2%	▲177億円	▲66.1%
	11カ月連続の減少		16カ月連続の減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸 出	増加品目	(1) プラスチック	68億円	+40.3%	輸 入	増加品目	(1) 石油製品	65億円	+61.1%
		(2) 荷役機械	11億円	+464.0%			(2) その他の採油用種子	8億円	+146.4%
		(3) 自動車	47億円	+21.6%			(3) 家庭用電気機器	7億円	+84.8%
	減少品目	(1) 石油製品	39億円	▲52.3%		減少品目	(1) 原油及び粗油	365億円	▲48.0%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	16億円	▲50.7%			(2) 液化天然ガス	155億円	▲18.4%
		(3) その他の化学製品	20億円	▲30.4%			(3) 有機化合物	12億円	▲38.1%
地域別 動向	増加：アジア 減少：北米、西欧			地域別 動向	増加：大洋州 減少：中東、アジア				

(参考) ドルレートは、105.51円（前年同月比2.1%、2.26円の円高）であった。

(注) 月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。